

第264回

クラシックファンのためのコンサート

2025年5月15日(木) 大阪倶楽部 4階ホール 午後7時開演

城石 賢明 オーボエ リサイタル

チェンバロ 秋山 裕子



<プログラム>

J. S. バッハ

カンタータ「我が片足は墓穴にあり」より

シンフォニア BWV 156

ソナタ ト短調 BWV 1020

ソナタ ト長調 BWV 1027

ソナタ ト長調(原調 イ長調) BWV 1032

第264回は城石賢明氏をお迎えしてオーボエリサイタルを行いました。プログラムは、「シンフォニア」と3曲のソナタなど、全てJ.S.バッハの作品でした。オーボエの音色はまろやかで美しく、管楽器の奏法の1つである循環呼吸によりなめらかにメロディが紡がれ、作品1027で奏されたロングトーンは圧巻でした。ソナタの原曲はフルートやヴィオラ・ダ・ガンバのためのものですが、オーボエとチェンバロの組み合わせも素晴らしく、バッハの時代に思いを馳せながらバロックの雰囲気をも十分に味わいました。‘この楽器は見た目より吹くのが大変’とおっしゃっていましたが、それを全く感じさせない熱演に大きな拍手が送られました。

<ご来場者のアンケートより>

- たまたま前を通り、このコンサートを聴くことができました。素晴らしい演奏で、これが定期的に無料で聴けるのは素晴らしいことです。ぜひ次回も来たいと思います。
- どの音もクリアでよく響き、とても美しかったです。心が洗われました。圧巻でした。天上にいるようでした。
- 1時間のコンサートとは思えない密度の濃い充実した内容の演奏会でした。バッハで心が整うのはもちろんですが、そっと心のひだに触れるようなオーボエの音色に癒されました。
- ロングトーンが心に染み込みました。時々目を閉じて聴くと、バッハの世界が広がっていました。1日の疲れが癒されました。



NPO 法人 クラシックファンのためのコンサート

〒550-0025 大阪市西区九条南2丁目18番16号

TEL 080-4824-4001 WEB classicfan.jp MAIL contact@classicfan.jp